

仕様

導入条件

- RPRを設置いただくこと
 - PCSがSolar Legatoの対応メーカー・型式であること※1
 - 自家消費制御に適したスロープ時間を設定できること
 - Solar Link ZERO1台で計測可能な台数をPCS台数の上限とする
 - 消費電力、買電電力のいずれか、または両方を計測していること ※2
 - 設備容量が大きく消費が少ない場合は停止/待機ビットを利用した制御が必要になる場合がある ※3
- ※1. 制御にはタイムラグがあるため、PCSの計測間隔が長いほど適切に制御できなくなります。
- ※2. アナログまたはRS-485（マルチメーターなど）による計測で瞬時値であること。
パルスからの換算はできません。また、低圧スマートメーターで計測する買電電力をご利用いただけますが、スマートメーターの仕様により、一度計測値の取得に失敗すると、最短で20秒間スマートメーターの計測ができません。
また、買電電力の計測に失敗し続けると、発電が停止します。
事前の通信確認での結果等を考慮いただき、マルチメーター等での計測もご検討ください。
- ※3. 日射変動による発電の変動が大きく、急な発電による逆潮流発生を防ぐため（特に1台当たりの容量が大きい場合）。

本製品はRPRが作動しないことを保証するものではありません。

対応 PCS メーカー 一覧

自家消費制御対応 業界トップクラスの対応力を誇り、30社ものPCSメーカーに対応しています。

インリー・グリーンエナジージャパン	エクソル	SMA ジャパン	カナディアン・ソーラー・ジャパン	Q セルズ	クリーンベンチャー 21
Sungrow Japan	三社電機製作所	サンテックパワージャパン	山洋電気	GS ユアサ	JA ソーラー・ジャパン
新電元工業	田淵電機	DMM.com	デルタ電子	東芝三菱電機産業システム	トリナ・ソーラー・ジャパン
日新電機	日本エネルギーホールディングス	ネクストエナジー・アンド・リソース	ネミー	パナソニック 三洋電機	日立産機システム
ファーウェイジャパン 華為技術日本	藤崎電機	MARICI Japan (旧：ABB)	三菱電機	明電舎	安川電機

蓄電池制御対応

・東芝 IT コントロールシステム

- ・AppleおよびAppleのロゴは、米国およびその他の国におけるApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc. のサービスマークです。
- ・Google Play、Google PlayのロゴおよびGoogle ChromeはGoogle LLCの商標です。
- ・WindowsおよびMicrosoft Edgelは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標です。
- ・MozillaおよびFirefoxは、米国およびその他の国におけるMozilla Foundationの商標です。
- ・その他、記載されている会社名・商品名等の名称は、各社の登録商標または商標です。

株式会社 ラプラス・システム <https://www.lapsys.co.jp>

【本社】〒612-8083 京都市伏見区京町 1-245 TEL:075-604-4731 FAX:075-621-3665

【東京支店】〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-3-10 新宿御苑ビル 4 階
TEL:03-6457-8026 FAX:03-6457-8027

【仙台営業所】〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 2-1-7 本町奥田ビル 9 階
TEL:022-216-5060 FAX:022-216-5061

【高崎営業所】〒370-0058 群馬県高崎市九蔵町 25-1 WESTIN I 5 階
TEL:027-333-1851 FAX:027-333-1852

コールセンター TEL:075-634-8073

受付時間:平日 9:00～19:00/土曜 9:00～17:30
日曜、祝日、年末年始は休業いたします。

動作環境

■ 遠隔監視用PC

OS

Windows10 (32bit / 64bit)

ブラウザ

Google Chrome / Mozilla Firefox / Microsoft Edge (いずれも最新版)

■ 制御設定用PC

- ・制御設定用のPCを接続する構内ネットワークが必要です（計測機との直繋ぎも可）。
- ・遠隔監視システムをご利用いただく場合は、別途インターネット契約が必要です。

※他環境下での閲覧や動作の確認は行っておりません。



NEW PCSメーカー・型式の混在に対応

Solar Legato

自家消費型太陽光発電向け自動出力制御システム



スマートメーター(低圧・高圧)の
ECHONET Lite認証 AIF認証取得

特許取得

特許 第6364567号

モニタリングシステム容量

12GW/52,000件

※2020年12月末現在

導入件数

高圧監視シェア

58%

出典:Solvisto Vol.41
(2014年8月20日号)



出典：富士経済 FIT・再生可能エネルギー発電関連
システム・サービス市場参入企業 実態調査
2019 太陽光発電遠隔監視サービス<2018年度見込み>

このカタログの記載内容は2021年2月現在のものです。仕様は予告なく変更する場合があります。

© Laplace System

Solar Legato

自家消費型太陽光発電向け自動出力制御システム

太陽光発電モニタリングシステムのみならず、自家消費型太陽光発電の分野においても多くのお客様に選ばれ、実績と信頼を築き上げています。



モニタリングシステム容量

導入容量 **12_{GW}** / 導入件数 **52,000** 件 高圧監視シェア **58%**

※2020年12月末現在

出典: Solvisto Vol.41
(2014年8月20日号)

出典: 富士経済 FIT・再生可能エネルギー発電関連システム・サービス市場
参入企業 実態調査 2019 太陽光発電遠隔監視サービス<2018年度見込み>

Solar Legato

豊富な実績

自家消費制御システム導入実績

(2020年12月末現在)

倉庫、工場、スーパーマーケット、福祉施設など幅広い業種の事業者様がSolar Legatoを導入しています。

400

件

Solar Legatoの特長

- 1 高精度の制御技術**
創立から30年。長く培った技術開発力で、高精度制御を実現。
→詳細 P.5 ~
- 2 高機能・多機能**
安全な運用や、発電事業のさらなる有効活用に効果的な機能を多数搭載。
→詳細 P.7 ~
- 3 長期運用のリスク削減**
発電所全体での最適制御によって、将来を見据えた安心のシステムに。
→詳細 P.13

安心のサポート体制

機器保証

計測端末Solar Link ZEROは最長で契約年数分※、その他の機器は1年間の機器保証が付帯します。

※Solar Legato match/Stand aloneの場合は1年間
※契約期間延長の場合、保証も継続されます

代替回線保証

将来的にご契約時の通信回線サービスが終了した場合、別途代替の回線をご用意します。

が選ばれる理由

業界トップクラスの対応力

機器選定の手間や追加購入のコストを削減

単相
三相 PCS
対応

対応PCSメーカー
31社

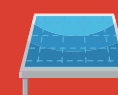
最大PCS接続台数
30台

※PCSメーカーや設備構成によって異なる場合があります

NEW!

複数のPCSメーカー・型式が混在する設備にも対応

例 発電所構成イメージ



自立運転機能 **あり**



その他のメーカーのPCS (自立運転機能なし)



災害時の非常用電源としての活用などを目的に、一部を自立運転機能のあるPCSメーカーで構成している場合でも導入が可能です。
※PCSの組み合わせによっては対応できない場合があります。詳しくはお問い合わせください。

スマートメーター/検定付き電力メーター対応

検定付き電力メーター/スマートメーター(低圧・高圧)の通信が可能のため、PPA 事業にもご活用いただけます。

電気は「売る」から「使う」時代へ

太陽光発電のトレンドは自家消費型へ

太陽光発電による電気を電力会社に売らず、施設等で自ら消費する自家消費型太陽光発電が増えています。

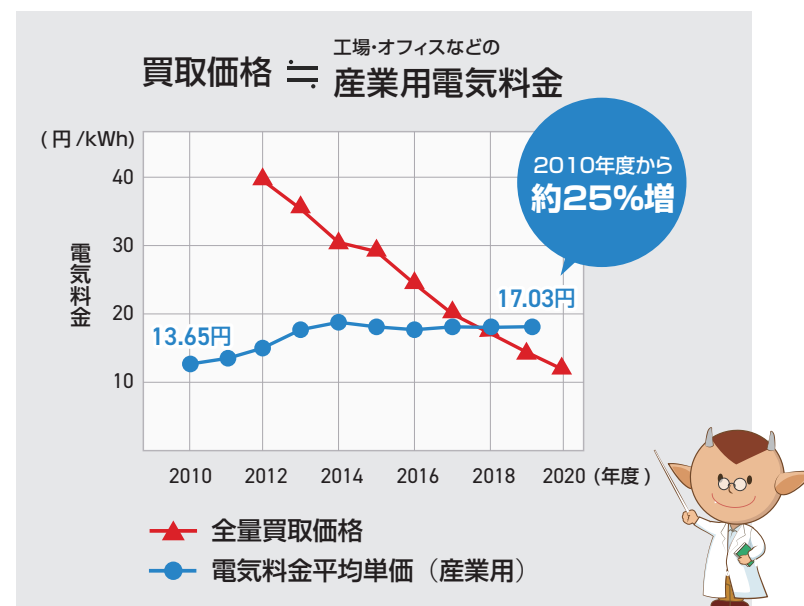
電気料金の上昇

原子力発電所の停止や、再エネの導入が進んだことによる賦課金の増大などの影響により、産業用電気料金は2010年以降上昇傾向にあります。

全量買取価格の低下

固定価格買取制度(FIT)での事業用太陽光発電の買取価格は、2012年度開始当初の40円/kWhから、2020年度は12円/kWh※にまで低下。売電利益を得ることが難しくなっています。

※50kW以上250kW未満の場合

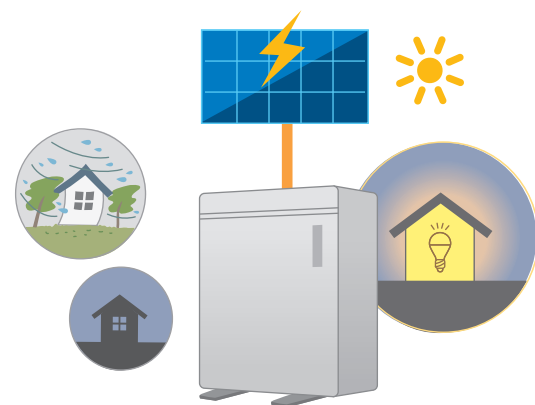


災害時の非常用電源として

未曾有の自然災害の多発を背景に重要視される、企業が緊急時に事業の継続や復旧を図るためのBCP(事業継続計画)。その一環として、自家消費型発電が非常用電源に有効活用できる可能性が注目されています。

脱炭素社会に向けた動きの活発化

RE100を筆頭に、ESG投資やSDGsなどが注目を集める昨今、自家消費型発電の導入によって脱炭素社会の実現に貢献する企業が増加しています。



自家消費型太陽光発電が抱える課題とは…?

PCSが止まってしまう…

発電過多になると逆潮流が発生。電力会社との契約上、逆潮流禁止の場合はRPRが作動しPCSが停止します。

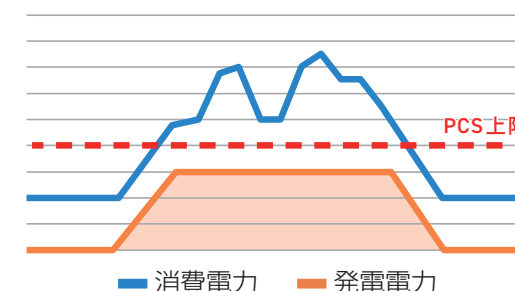


消費電力 < 発電電力

RPR が作動し、PCS が停止

最大限まで発電したい…

発電過多を避けるために最小消費電力に合わせてPCSの出力を抑えると、発電システムを最大限には有効活用できません。



消費電力 > 発電電力

逆潮流は発生しないが、発電量が低下

逆潮流の発生を避けながら発電量を最大化するという技術的課題が導入のハードルに…

Solar Legato が課題を解決！

特許技術で発電電力を最大化

本システムは、独自の計算式で算出した出力指令値でPCSの出力を自動制御する発電制御システムとして特許を取得（特許 第6364567号）。

消費電力の変動に合わせてPCSを自動制御して、逆潮流のリスクを抑え、さらに従来過剰に抑制されていた発電電力の有効活用を可能にしました。



逆潮流の発生抑制

かつ

発電電力の最大化

を実現

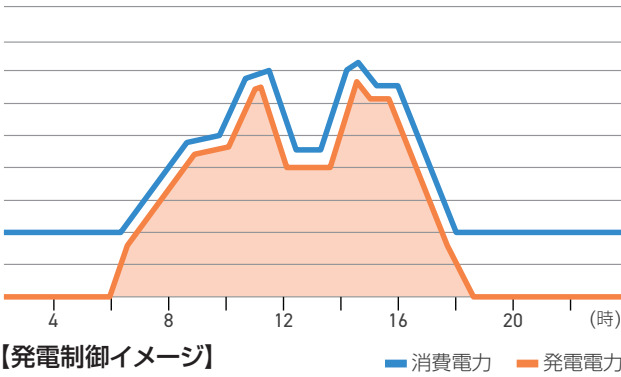
発電電力を最大化する

特許取得の追従制御

消費電力に合わせた自動制御

消費電力を発電電力が上回る場合、任意で設定したパラメータに合わせて消費電力の一定割合で発電電力を制御し、逆潮流の発生を低減します。適切な追従制御によって、発電電力を最大限に利用できるようになります。

※消費電力を計測していない場合は、買電電力と発電電力から算出した値を用います。



最大出力可能電力 = 消費電力 (kW) × 【比例係数 A (%)】 / 100 - 【固定定数 B (kW)】

比例係数 A (%)

消費電力に対する最大発電電力の百分率

固定定数 B (kW)

消費電力や発電電力の急な変動に対するための電力幅

例 【比例係数 A=90、固定定数 B=0 で設定した場合】

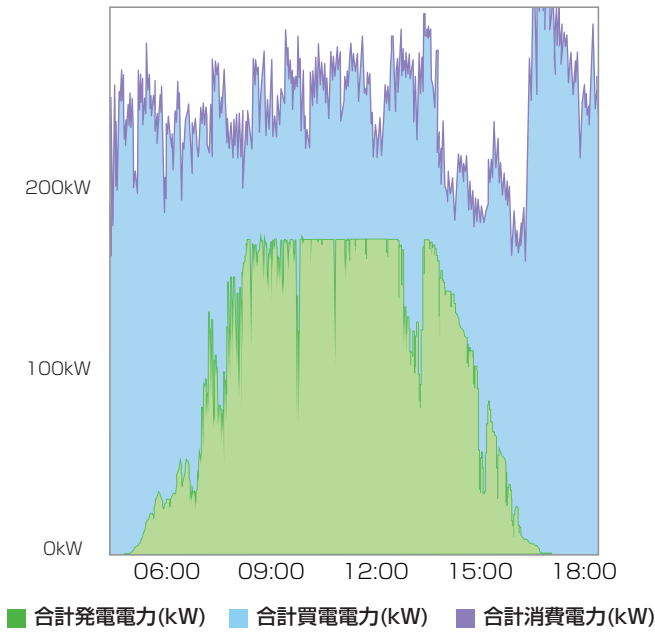
消費電力 < 発電電力の時、消費電力の**90%**を目指して発電電力を制御

➡ **消費電力の変動に合わせた制御で
より多くの発電電力を得られるように！**

※買電電力が一定量以下になると、指令値を切り替え、逆潮流の発生を防止する機能があります。

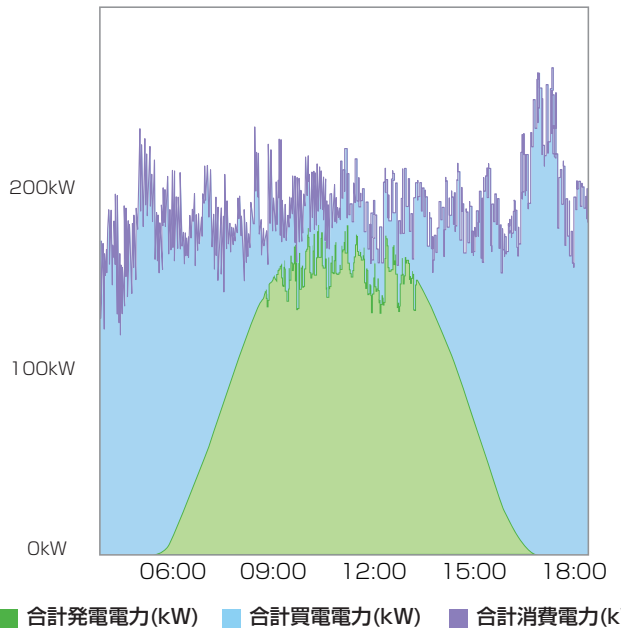
【追従制御イメージ】

従来の自家消費型発電



逆潮流を避けるためにPCS容量を制限しているため、最大限に発電できない。

Solar Legato



消費電力に追従して制御し、従来の過剰制御分の発電電力を有効活用。

通信負荷を抑え高速化を実現する

特許出願中

NEW

PCSピックアップ制御

※PCSによっては対象外となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

RPRの作動を抑制させる、十分な高速性をもった制御方式へ

1秒単位での高速制御を実現する独自のアルゴリズム

PCS台数を絞り込んで制御を行う独自のアルゴリズム「PCSピックアップ制御」により通信負荷を抑え、さらに消費電力のみを高速で計測するよう変更したことで、制御に伴うタイムラグを大きく解消し**従来の6秒周期から1秒周期※での計測・制御に大幅改善しました。**

※制御は消費電力の変化に合わせたタイミングで必要に応じて行われます。

従来 (例) 定格10kW PCS5台、発電所容量50kWの場合

一律制御 全PCSを一律に制御

発電電力 制御値 (kW)	各PCS制御指令値 (%)				
	PCS 1	PCS 2	PCS 3	PCS 4	PCS 5
40	80	80	80	80	80
35	70	70	70	70	70
30	60	60	60	60	60
25	50	50	50	50	50
20	40	40	40	40	40
30	60	60	60	60	60
40	80	80	80	80	80

全PCSに毎秒制御値を送る必要がある(通信負荷増大)

※赤文字 = 制御値を送った PCS

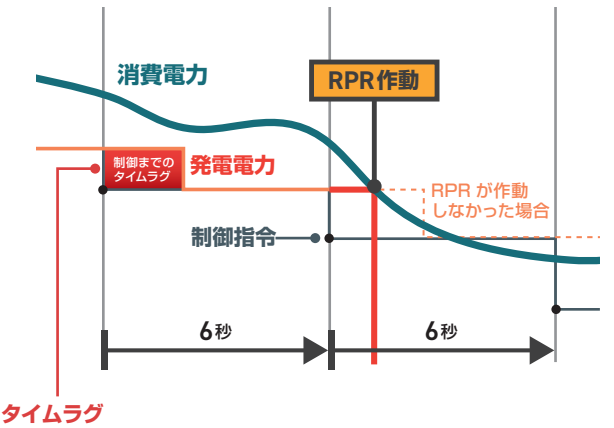
通信負荷低減・高速化

PCSピックアップ制御 制御対象のPCSを絞りこみ
発電所全体としての値で抑制

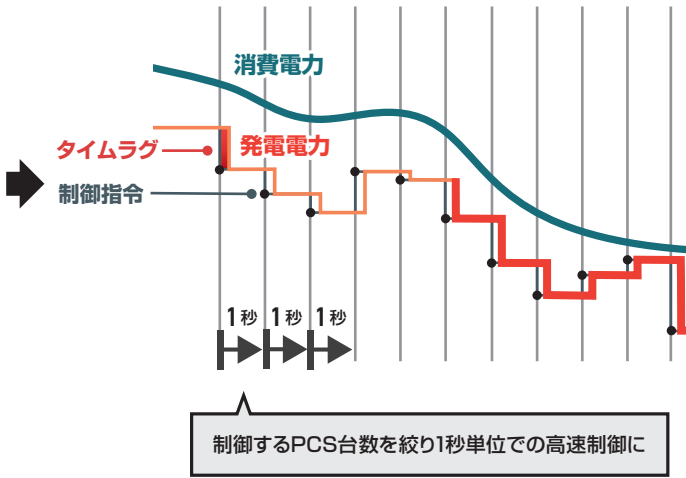
発電電力 制御値 (kW)	各PCS制御指令値 (%)				
	PCS 1	PCS 2	PCS 3	PCS 4	PCS 5
40	100	90	80	70	60
35	50	90	80	70	60
30	50	40	80	70	60
25	50	40	30	70	60
20	50	40	30	20	60
30	50	40	50	100	60
40	50	100	90	100	60

- 1 発電電力を下げる場合は発電電力の大きいPCS、
- 2 発電電力を上げる場合は発電電力の小さいPCSを優先して制御する

従来(6秒) 消費電力の急激な変化に追従できず、RPRが作動



改良(1秒) 消費電力の変化に合わせて高速で制御



遠隔監視システム

遠隔監視システム&サービス L・eyeとの連携で発電状況をまとめて確認

※Solar Legatoパッケージ, Solar Legato matchのみ

遠隔監視システム&サービス エル・アイ

L・eye

モニタリングシステム容量

導入件数
12_{GW}/52,000件

※2020年12月末現在

高圧監視シェア

58%

出典: Solvista Vol.41
(2014年8月20日号)



出典: 富士経済FII再生可能エネルギー発電関連システム・
サービス市場参入企業 実態調査2019太陽光発電遠隔
監視サービス<2018年度見込み>

L・eye 監視画面



詳細な発電状況の確認に

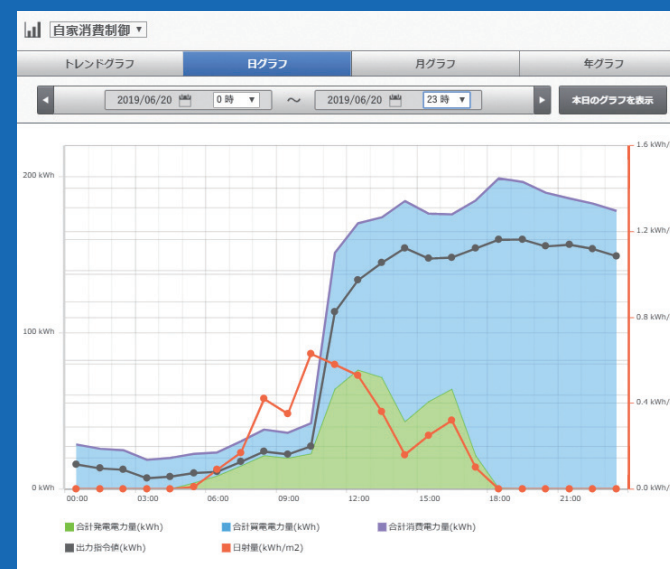
発電電力の確保

資産価値の維持

PCSごとの数値など詳細な発電状況を確認でき、異常時にはメールで通知。精緻な監視・異常時の迅速な通知で発電損失を最小限に抑え、詳細な発電データの保存も可能なため資産価値の証明にも役立てられます。

1 自家消費制御グラフ

L・eye 監視画面で自家消費制御のグラフを表示することができます。トレンド・日・月・年単位での表示ができ、その他「売買電グラフ」や「自家消費制御(蓄電池あり)グラフ」も表示可能です。



グラフ表示項目

- ・合計発電電力量 (kWh)
- ・合計買電電力量 (kWh)
- ・合計消費電力量 (kWh)
- ・出力指令値 (kWh)
- ・日射量 (kWh/m²)

詳細設定

表示項目やY軸のレンジを設定することができます。

The screenshot shows the '詳細設定' (Detailed Settings) form. It includes sections for '計測項目' (Measurement Items) where you can select which data series to display, and 'Y軸設定' (Y-axis Settings) where you can set the range for the Y-axis (Power or Solar Radiation) and choose between '自動設定' (Automatic Setting) and '手動設定' (Manual Setting).

2 自家消費制御の情報を表示

買電電力や消費電力、制御設定の値(A値/B値)など制御に関する数値情報を取得して表示します。

買電電力(kW)	合計消費電力(kW)	合計買電電力(kW)	合計発電電力(kW)	出力指令値(%)
23.0	117.9	23.0	94.9	39.1
比例係数A(%)	固定定数B(kW)	閾値(kW)		
90.0	10.0	15.0		

CSV形式で計量値をダウンロード

豊富な計測データをCSV形式で確認できます。
電力メーターの計測データもダウンロードできます。



異常時はメールでお知らせ

異常時には一分単位での迅速なメール通知を行い、見落としを防ぎます。PCS毎の詳細監視が可能のため、異常発生箇所の特定や早期復旧にもつなげることができます。



総合監視

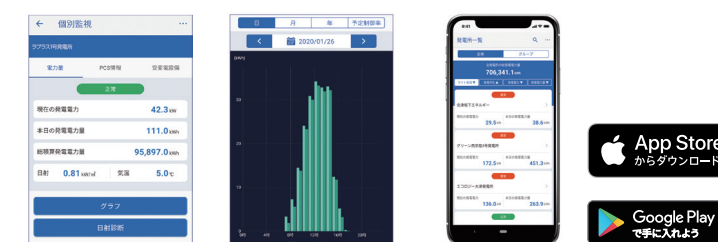
複数の案件はL・eye 総合監視でまとめて確認することができます。各発電所の監視画面への遷移もスムーズに行うことができます。



スマホアプリ

無料でダウンロードでき、アプリならではの高い操作性で発電状況をいつでもどこでも確認できます。

※自家消費制御グラフの表示はできません



個別監視

グラフ画面

遠隔設定

遠隔地からもL・eye 監視画面で制御設定が可能。

※Solar Legato パッケージ、Solar Legato match のみ

制御パラメータ

時間帯制御
カレンダー

制御パラメータ設定

消費電力に対する発電電力の制御設定とRPRの作動を防ぐための設定を行います。

制御イメージ

制御パラメータ「比例係数A90%」「固定定数B10kW」の値を設定

[定格容量150kW、消費電力150kWの場合]

計算 $150\text{kW} \times 90\% - 10\text{kW} = 125\text{kW}$

最大出力可能電力は、125kW(83%)

制御パラメータ設定画面

時間帯制御設定/制御カレンダー

制御設定の値を時間毎に設定することができます。電力需要が減少する昼休みや休日に合わせた設定をすると効果的です。制御カレンダーでは、時間帯制御設定の状況をカレンダー上で確認でき、設定変更も可能です。

時間帯制御設定画面

制御カレンダー画面

ローカル接続でも設定可

インターネットを使用しない、現地のローカル接続でも専用のWEBアプリで各種設定を行うことができます。

環境貢献PR

PRに力を入れたい方から手軽に行いたい方まで、幅広いニーズに対応します。

Web

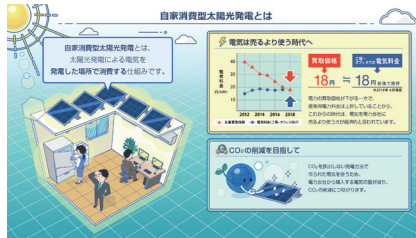
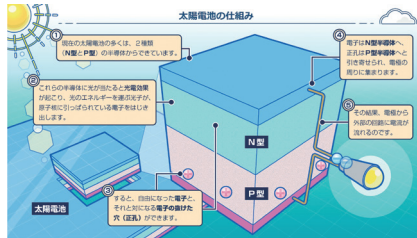
ホームページ上でのPRコンテンツにも

Mieruka Web

※Solar Legato パッケージ、Solar Legato match のみ

計測連動型PRソフトウェア Mieruka Webでは、Solar Legatoの計測情報と連動させた環境貢献PRが行えます。自家消費型発電に特化した内容でご用意しており、さらにデザインカスタマイズ(有償)も可能。目的に合わせた最適なPR画面をご提供いたします。

※ご利用には、「ラプラス ID」の登録が必要です



ラプラスIDとは？

Webサービスをはじめとする当社提供のサービスにご利用いただける共通IDです。

Mieruka Webのほか、L・eye 監視画面でのスムーズな発電所管理にも役立ちます。

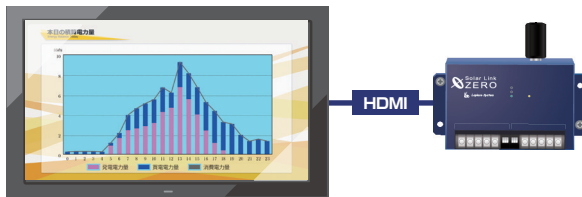
ローカル

HDMI接続でかんたんPR

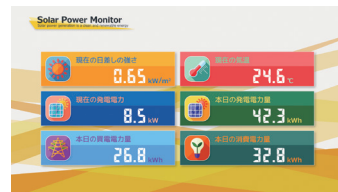
自家消費向け現地表示画面

現地表示画面で、Solar Legatoの計測内容に合わせた自家消費項目の表示が可能です（蓄電池情報を除く）※。

※表示可能項目：発電電力量、買電電力量、消費電力量



8つのテイストからお好きなデザインテイストに変更することができます。



カラフル



ジオラマ



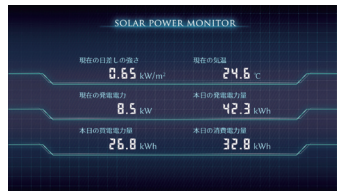
キュートイラスト



キャラクター



フラワー



シンプル



写真



標準 A

蓄電池を含めたシステム構成に対応

蓄電池制御

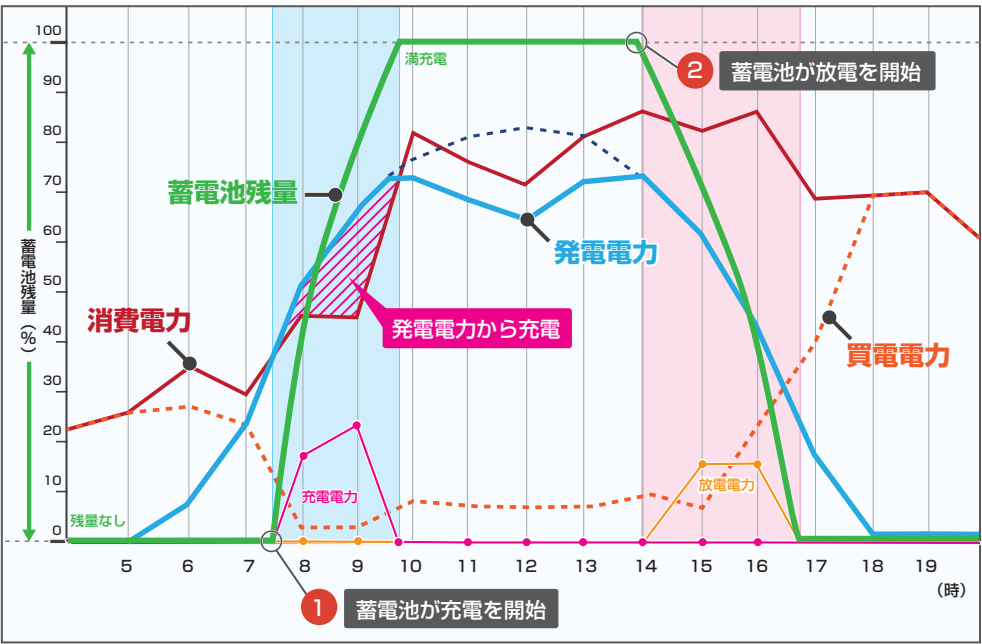
蓄電池の充放電の制御が可能になり、システム全体の最適制御を実現。
買電を抑えた運用をサポートし、より有効な発電電力の利用を可能にします。

※東芝ITコントロールシステム株式会社製の蓄電システムに対応。型式はお問い合わせください。
※本システムで計測・制御可能な蓄電池は1台のみです。

蓄電池を含めたシステムに Solar Legato を導入した場合

発電電力と消費電力+蓄電池空容量の関係から算出した出力指令値（％）で制御し、最適な発電を行います。

制御イメージ



— 消費電力 — 買電電力 - - - 発電電力（制御前） — 発電電力（制御後） — 蓄電池残量
■ 充電電力 ■ 放電電力

※グラフはイメージです

優先充電機能

時間帯を指定し、消費電力や発電電力にかかわらず、発電電力を強制的に充電するよう蓄電池に指令します。

残量維持機能

蓄電池の最低残量を％で指定し、消費電力や発電電力にかかわらず充電量を確保することができます。

蓄電池制御設定

☐ 優先充電
00 : 00 ~ 00 : 00 は、充電のみ行う
☐ 発電している電力の範囲で充電する
※本機能は買電電力を、充電電力として活用する場合がございます。
買電電力からの充電を禁止する補助金案件の場合、上記の「発電している電力の範囲で充電する」にチェックを入れてください。
※残量維持の設定と併用する場合は、優先充電の設定が先に適応されます。

☐ 残量維持
蓄電池残量 % を下回るとき放電を停止する
※指定された残量を下回らない範囲で、充電制御を行います。

制御パラメータ設定画面

使い方のヒント

- ・割安な深夜電力を活用して蓄電池を充電する
※夜間の電気料金が安い契約プランをご利用中のユーザーが対象
- ・事前に蓄電池へ電力を溜めておき、消費電力が高い時間帯に確実に放電させる
- ・停電などの緊急時に備えて一定の蓄電池残量を確保する

Solar Legato パッケージ

自家消費型太陽光発電向け自動出力制御システムと遠隔監視システムをセットにしたパッケージです。

		PCS定格総容量															
	項目	低圧 (～50kW未満)				高圧1 (50kW～250kW未満)					高圧2 (250kW～500kW未満)			高圧3 (500kW～1MW未満)		高圧4 (1MW～2MW未満)	
	プラン名	低圧標準	低圧塩害	低圧SPD	低圧FL	高圧1標準	高圧1塩害	高圧1SPD	高圧1FL	高圧1FLボックススラージ	高圧2ライト	高圧2標準	高圧2標準ボックスレス	高圧3標準	高圧3標準ボックスレス	高圧4標準	高圧4標準ボックスレス
構成機能	収納盤	Type B LSB-BN	Type B LSB-BP	Type A LSB-AP	Type B LSB-BF	Type B LSB-BN	Type B LSB-BP	Type A LSB-AP	Type B LSB-BF	Type B LSB-BFL	Type B LSB-BN	Type C LSB-CH	Type C LSB-CY	Type C LSB-CH	Type C LSB-CY	Type C LSB-CH	Type C LSB-CY
	通信回線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日射・気温計	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	FLIPLINK追加	—	—	—	△	—	—	—	△	△	—	—	—	—	—	—	—
	低圧スマートメーター	△※1	△※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高圧スマートメーター	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
監視画面機能	カメラ画像	△	—	—	△	△	—	—	△	—	△	△	△	△	△	△	△
	サービス提供期間 1年/10年※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現地表示画面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 標準 △ オプション（有償・任意） ※：別途、現地調整（有償）が必要です。ただし、低圧スマートメーターオプションを導入の場合は任意となります。
※1：低圧スマートメーターと通信を行うための専用機器 Wi-SUN ドングルが追加されます。
※2：ASP サービス、無線通信サービス、機器保証の提供期間は、サービス提供期間に準じます。

項目	内容物									
	電源	電源ユニット	ブレーカー	端子台	UPS	OA タップ	電源SPD	RS-485 SPD/ LAN SPD	HUB	FLIPLINK
TypeA (LSB-AP)	100V/200V	○	○	○	—	—	○	○	△	—
TypeB (LSB-BN/LSB-BP)	100V/200V	○	—	—	—	—	—	—	—	—
TypeB (LSB-BF)	100V/200V	○	—	—	—	—	—	—	—	○
TypeC (LSB-CH/LSB-CY)	100V	—	○	○	○ (板外に設置)	○	○	○	△	—

○ 標準 △ オプション（有償・任意）

Solar Legato match

パッケージでは対応できない場合に、目的や条件にマッチする最適なシステムをご提案します。

Solar Legato Stand alone

現地で制御設定や制御状況を確認

インターネット接続不要で現地での運用が可能。ローカルネットワークのWebアプリケーションで、発電状況の確認やCSV形式でのデータダウンロードができます。

CSVダウンロード項目
・総交流電力量
・総直流電力量
・総故障時間
・総系統異常時間
・消費電力
・買電電力
・出力指令値

Web アプリケーション画面

NEW スマート端子台「FLIPLINK」を搭載可能

Solar Legato パッケージや Solar Legato match で、日射・気温入力（4点）、アナログ入力（8点）、接点 / パルス入力、接点出力（各16点）から任意の FLIPLINK を組み合わせて構成することができます。

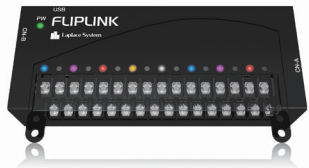
※Solar Legato パッケージ 低圧 FL は FLIPLINK AI（アナログ入力） / ST（日射・気温入力）のみ搭載可

スマート端子台

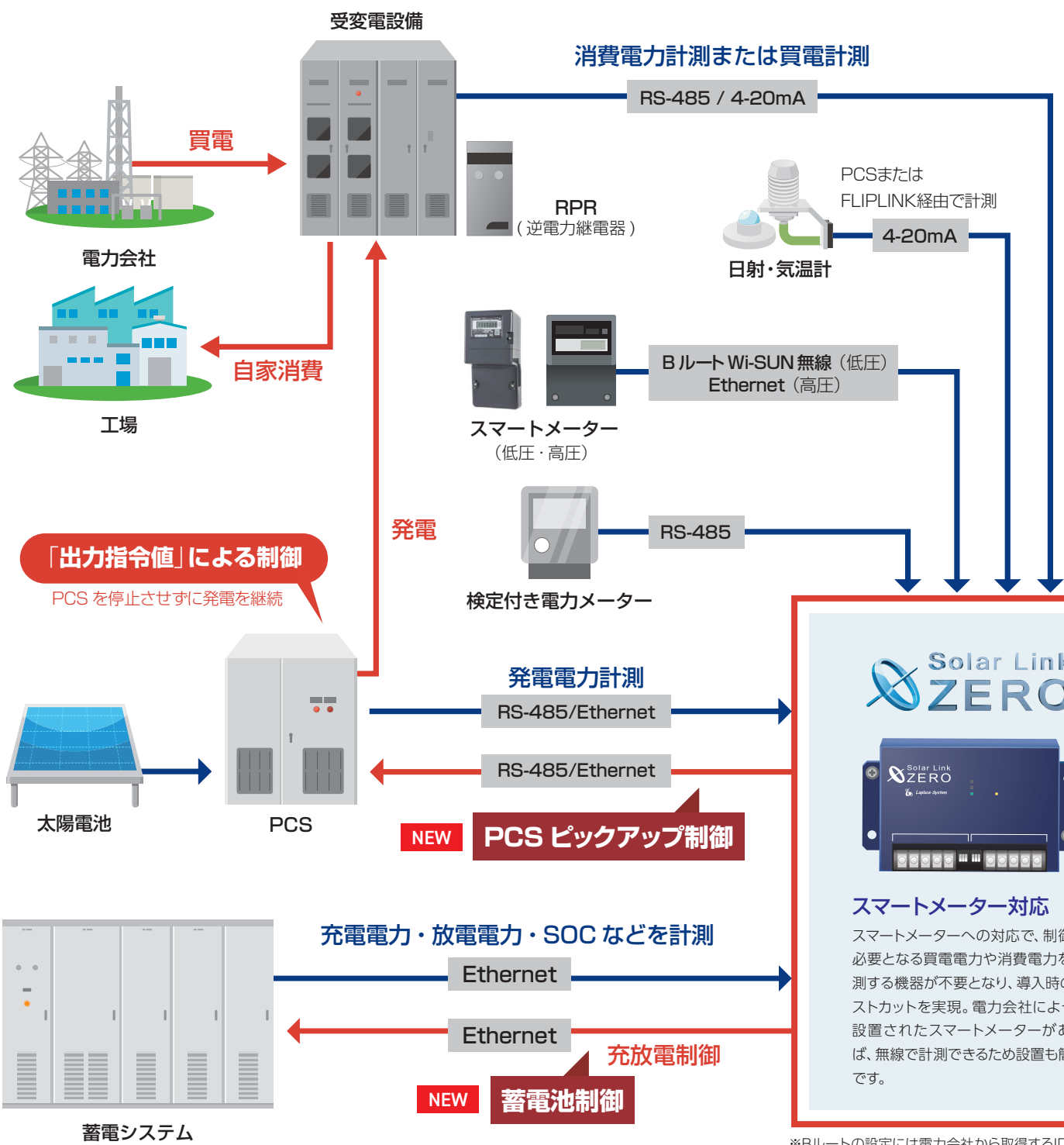
FLIPLINK

収納盤をコンパクトにまとめる計測器

計測器と端子台の一体型という発想から生まれた、小型でシンプルな端子台型のリモートI/O。日射・気温（ST） / 接点入力・パルス入力（DI） / 接点出力（DO） / アナログ入力（AI）に対応する4機種をご用意しています。



Solar Legato 構成例 (蓄電池システムを含む場合)



※Bルートの設定には電力会社から取得するIDとパスワードが必要です。
※高圧スマートメーターでは買電電力(瞬時値)は取得できません(買電電力量は取得可)。制御を行うためには、買電電力または消費電力を計測するマルチメーターを受変電設備に取り付けていただく必要があります。

未来を見据えた発電所単位での最適化システム

負荷追従型 PCS のように、PCS の個々の機能に依存した機器構成は将来的に機器の買い替えが発生する可能性も。Solar Legato は発電所の状況に合わせて制御端末が PCS に制御指令を送ることで、蓄電池など他のシステムも含めた総合的な発電所状況の最適化が可能。今後のスマートエネルギー化や制度の変化への柔軟な対応も見据えています。

負荷追従型PCSとの比較 - Solar Legatoで追加コスト削減も -

将来的なスマートエネルギー化に
スマートエネルギー化が進み、将来的に蓄電池や負荷の制御、発電・需要予測、電力の売買、自己託送などを行うとなった場合、PCSの個々の機能だけでは対応が困難。Solar Legato のように、発電所全体を総合的に最適化する制御システムが必要となります。

発電所や設備仕様の変更にも
FITの発電所を自家消費に変更する場合や、将来的に自家消費の発電所をFIPに変更する場合といった発電所の仕様変更にも、制御端末のソフトウェア上書きで対応が可能。PCS1台毎に対応する必要がなく、追加費用を抑えられる可能性も。